



## 手柄山平和公園駅開業

いま山陽中校区の街並みは大きく変わろうとしています。中学校のすぐ横にあった文化センターは取り壊され、姫路スーパーアリーナが9月に完成します。旧市場後にはやがて姫路市立高等学校が建設されます。そして、いよいよ3月14日に手柄山平和公園駅が開業します。

新駅は手柄山公園付近の施設へのアクセスを目的につくられた駅ですが、この駅名に平和の2文字が組み込まれているのは、多くの人々がこの駅に託した平和への思いが感じ取れます。

本校は、平和教育を教育の柱のひとつに掲げています。4月に3年生は、修学旅行で原爆の被災地である長崎を訪れ、それぞれの学年独自の山陽中平和宣言をしてきました。現地で語り部の方から講話を聴いたり、被爆地のフィールドワークで惨劇の遺跡を見学したりしながら、戦争の悲惨さや愚かさについて深く学びます。また、7月の姫路空襲の日には、放送部がその様子を朗読したり、校区在住の黒田 権大先生から当時の様子について、お話を聞かせていただいたりしています。本年度は、制服の日記念講演会で、ウクライナ研究の第一人者である神戸学院大学の岡部 芳彦教授を招聘し、ウクライナについての講演をしていただきました。また、10月に開催する学芸発表会では、放送部が平和に関する朗読劇を披露しています。夏休みから舞台の大道具や衣装などを準備し、稽古に稽古を重ねての迫真の朗読劇は観ている者に平和の尊さを訴えます。そして、毎年10月26日に手柄山で開催される太平洋戦全国空爆犠牲者追悼平和祈念式には、全校生で千羽鶴を折り、生徒会の代表が参列してその千羽鶴を手向けてきました。

先日、2年生が姫路班別学習で見学した姫路城は、姫路空襲の際には奇跡的に焼失を免れた世界遺産です。かつては姫路城のまわりに多くの武家屋敷が建ち並んでいましたが、戦時下に取り潰され、陸軍本部の建物や兵舎が建てられたそうです。そのほとんどの建物が姫路空襲で焼き尽くされました。姫路だけでなく全国の主要な都市は空爆の被害を受け多くの犠牲者がでました。

ご存じのように、1947年(昭和22年)1月、当時の石見 元秀姫路市長が全国で被災した113都市(東京都と112市町)に呼びかけ、全国戦災都市連盟(現在の一般財団法人太平洋戦全国空爆犠牲者慰霊協会)を結成し、1952年(昭和27年)4月、恒久平和確立の象徴として慰霊碑建設が提案され、同年7月に建立場所として手柄山が選定されました。

私たちが暮らす山陽中校区の街の開発で、新しくJR新駅が開業しますが、この駅名に平和の2文字を添えて名づけられている思いを皆さんなら理解できることでしょうか。どうかいつまでもその思いを心にとめ、平和な社会を守り続けてほしい、と願います。

3月14日の開業では、10時から開業記念式典が催されます。本校の吹奏楽部が招待され、お祝いの演奏を披露します。単に地元の中学校が招待され演奏するのではなく、手柄山に平和を託す思いをしっかりと学んできた山陽中吹奏楽部だからこそできる演奏を、心を込め、胸を張ってやってくれると期待しています。

結びにあたり、生徒のみなさんは、この駅を利用するときの乗車マナーやその周辺を通学するときの交通マナーで指導をうけることがないように注意してください。特に新駅開業にともない、駅付近の道路交通事情が大きく変わることが予想されます。どうか時間に余裕をもち、交通安全に留意して通学してください。

それでは、手柄山平和公園駅の開業を心より歓迎し、皆さんでお祝いしましょう。